

保護者各位

北九州市立高蔵小学校

校長 朝倉 謙吾

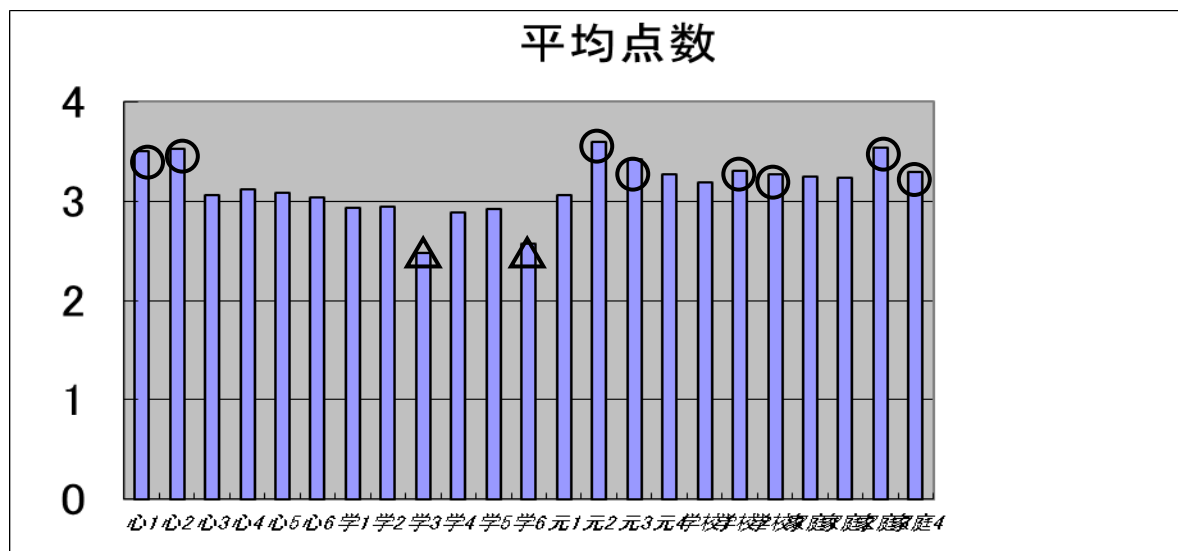
学校教育に関するアンケートの結果について

1. 質問内容（※○…比較的高い値，△…比較的低い値）

心1	お子さんは、喜んで学校に通っていますか。	○3.51
心2	お子さんは、友だちと仲良くしていますか。	○3.53
心3	お子さんは、自分からあいさつをしていますか。	3.06
心4	お子さんは、場に応じた言葉遣いができていますか。	3.11
心5	お子さんは、「きまり」を守っていますか。	3.09
心6	お子さんは、お手伝いをしていますか。	3.03
学1	お子さんは、自分の考えをはっきりと言えていますか。	2.94
学2	お子さんは、話をしっかりと聞くことができますか。	2.95
学3	お子さんは、整理・整頓ができていますか。	△2.48
学4	お子さんは、忘れ物はないですか。	2.89
学5	お子さんは、家庭で学習をしていますか。	2.92
学6	お子さんは、家庭で読書をしていますか。	△2.57
元1	お子さんは、早寝、早起きをしていますか。	3.06
元2	お子さんは、朝ごはんを食べていますか。	○3.60
元3	お子さんは、外で遊んでいますか。	○3.42
元4	お子さんは、安全に気を付けていますか。	3.27
学校1	学校の施設、設備、環境等は整っていると思いますか。	3.19
学校2	学校は、子どもにわかりやすい授業をおこなっていると思いますか。	○3.31
学校3	学校は、子どものこと等を相談しやすいですか。	○3.27
家庭1	子どもの話を聞いたり、子どもとの会話の時間をつくったりするように心がけていますか。	3.25
家庭2	お子さんのよいところをしっかりとほめていますか。	3.24
家庭3	お子さんが悪いことをした時、しっかりとしかっていますか。	○3.54
家庭4	学校からの手紙や通信に確実に目を通していますか。	○3.30

2. 結果の集計（平均点のグラフ）

※回収率86%



3. 結果の考察と今後の取組

毎年のことですが、1学期末のお忙しい中、ご協力をいただきありがとうございました。昨年度の同時期と、ほぼ同じ項目で、同様の結果となりました。この結果や貴重なご意見をもとに具体的な方策を今後の取組の中に位置付けながら、高蔵小学校の児童のよりよい成長につなげていこうと考えています。

(1) 心1. お子さんは、喜んで学校に通っていますか。(O3.51)

心2. お子さんは、友だちと仲良くしていますか。(O3.53)

【考察】 毎年のことですが、この項目が高い評価を得ていることに、学校の取組への大きな成果をいただいていると考えています。どの学校も、喜んで子どもが通いたい学校づくりに最も力を入れています。また、安心して友だちと仲良く活動することが学校生活の基礎となる重要なことです。

【今後の取組】 長い2学期となります。子ども達の様子をしっかりと把握しながら、楽しく様々な行事に取り組み、さらに学校に来ることを喜べるように、努力したいと考えています。そのためには、常に子どもに寄り添い、子どもの側に立った指導に心掛けるようにします。また、困ったことがあれば、いつでもご相談ください。

(2) 学校2. 学校は、子どもにわかりやすい授業を行っていると思いますか。(O3.31)

学校3. 学校は、子どものこと等を相談しやすいですか。(O3.27)

【考察】 学校生活は、授業を中心として成り立っています。授業がわかりやすく、楽しいものになっていることで、学力も定着すると言われていました。そのために、担任は、多くの時間を費やして、準備をしているわけです。そのことに対して高い評価をさせていただいたことで、今後の積極的な取組にも意欲がわいてきます。

【今後の取組】 子どもに学力を付けるために、放課後の補充学習等に積極的に今後も取り組んで参ります。また、保護者と学校が常に相談することで、同じ方向を向いて子ども達に力を付けることができます。家庭でも学校でも同じような内容で指導を行うことで効果が倍増するのだと思います。

(3) 元2. お子さんは、朝ごはんを食べていますか。(O3.6)

家庭3. お子さんが悪いことをした時、しっかりとしかっていますか。(O3.54)

【考察】 教育の基本は家庭にあります。朝食は、一日のよりよい学習にとって、とても重要な要素の一つです。また、是は是、非は非という強い信念で指導することが、よりよい人格の形成に必要です。家庭での基本的な習慣や指導がしっかりと行われていることに感謝します。

【今後の取組】 家庭における子育ては、本当に難しいと感じます。しかし、家庭教育の基礎の上に学校教育があります。基礎が揺らぐと、上に載っているものも傾いてしまいます。お忙しい毎日をお過ごしのことと思いますが、常に子どもを中心に置いて、家庭と学校が連携することが、今後とも重要であると感じます。

(4) 学6. お子さんは、家庭で読書をしていますか。(Δ2.57)

【考察】 北九州市は、読書日本一を目指しています。本には様々な知識や情報があふれています。本を読む習慣を子どもの頃に身に付けることは重要なことだと言われています。また、本に親しむことで、学力の基礎である読む力や想像する力も付いてきます。

【今後の取組】 北九州市では、毎月23日を読書の日とすることとしました。本校は、読み聞かせの会の方が隔週来られていますし、読書ボランティアの保護者の方も活躍されています。寝る前に読み聞かせをしたり、読書の時間を決めたりしてみたいでしょうか。

様々なご意見も多くいただきました。日頃から学校教育に関心をもって、ご協力をいただいていることがよくわかりました。中でも、「たてわりの活動に対して、今後も取り組んでほしい。」という意見が多く出されました。挨拶運動や給食等、6年生がリーダーシップをとり、異年齢での活動は意義あるものと感じています。親子ふれあい活動については、賛否両論ありました。土曜日授業のあり方が全市的に変わってきています。PTAの皆様とご相談しながら進めていきます。

また、この場では、ご意見に対する回答を詳しく掲載することはできない内容もありました。よりよい学校教育のために貴重なご意見として、今後に生かしていこうと思います。

ご不明の点等ございましたから、お気軽にお声かけください。個別に対応させていただきます。

ご協力ありがとうございました。校長 朝倉 謙吾